

敬老パスのJR・私鉄への利用拡大について

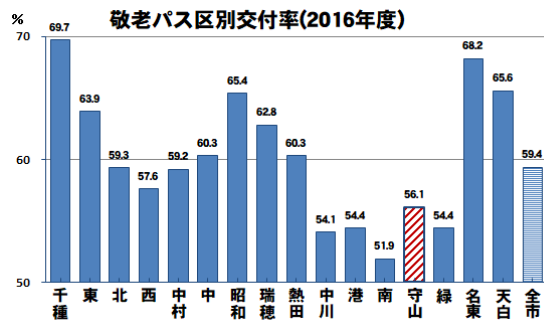
名鉄・JRで敬老パスが使えないのは不平等ではないか

【くれまつ議員】敬老パスのJR・私鉄への利用拡大について、党市議団が独自に行いました守山区民のみなさんへのアンケート結果を踏まえて、市長に質問します。

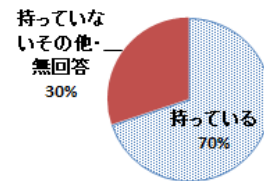
6月議会では名鉄沿線の市民62名の訪問聞き取り調査をご紹介しました。62名のうち51名が拡大に賛成され、パスをもっていない方39名のうち33名が名鉄で使えるようになればパスを使うと答えておられました。

今回市議団で行った調査は、6月から8月まで守山区の名鉄瀬戸線沿線とJR新守山駅沿線にお住いの世帯に返信用封筒をつけて配布し、798人の方から返信をいただきました。敬老パスをもっておられる方は558人です。の方に、名鉄・JRへの利用拡大がされた場合に、「名鉄・JRに敬老パスを使って利用されますか」とお聞きしました。94%の方が名鉄・JRを利用すると回答されました。一方敬老パスを持っておられない方75名にも対象交通の拡大についてお聞きしたところ、60人、80%の方が名鉄やJRを利用したいと回答されました。名鉄瀬戸線とJR沿線の方は利用拡大の要望が大きいのがわかりました。敬老パス制度について多くの方が意見を書かれ、自由意見欄には、次のような、「地下鉄が通っていない守山区は不平等」と訴えるものがありました。「守山区は地下鉄が通っていないため敬老パスは他の区に比べると不公平です。守山区民は日常の足である名鉄瀬戸線を利用できる様にするべきである。」

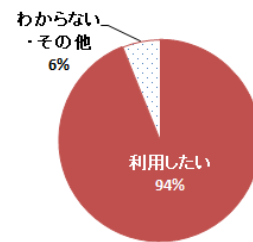
市長、この声を聞いて、どう思われますか。税金は守



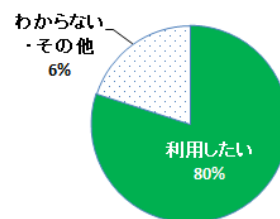
名鉄やJR沿線の方に聞きました「敬老パスを持っていますか」日本共産党のアンケート2017より



名鉄やJRで経路パスが使えるら(敬老パスを持っている人)日本共産党のアンケート調査2017より



名鉄やJRで経路パスが使えるら(敬老パスを持っていない人)日本共産党のアンケート調査2017より



山区にお住まいの方も同じように払っているのです。名鉄・JRなどが地下鉄に代る公共交通として重要な役割を担っている地域では、名鉄・JRで敬老パスが使えないために、市民が不自由に思っています。

そこで、市長に伺います。公共交通である名鉄・JRで敬老パスが使えないのが不平等だという市民意見について、どのように受け止められましたか。

【拡大に期待する声】

- 「地下鉄が通っていない守山区は不平等。名鉄・JRに拡大してほしい。」
- 「外出の機会が増える。健康のためにより、医療費削減になる。」
- 「楽しみがふえる。」
- 「積極的に社会参加、アルバイト、ボランティア等できるのでは」「家計が助かる。年金生活者にとって経済的にありがたい」「経済効果を生む」

不平等だとは思っています。交通系に乗れない人との不平等もあり、苦しみながら考えている（市長）

【市長】たしかに、地下鉄や市バスがないところはみんないやだね。もう一つは車いすの人達のようなバスに乗れない、たいへん不自由な人から見ればもっと高齢者福祉は平等であるべきではないかというのが出てくると思いますよ。なんとか考えなあかんということで苦しんどるんだがね。名鉄タクシーが一割引きでやってくれるようになったもんで、わしも古出来町まで帰るのにタクシー乗っていく。1割安いと便利なので、こないだ敬老パスを払ってもらいましたけどね。不平等がないようにどういうふうにするかと。なんでも乗れるようにする、名鉄とJRも一つですけど、そこばっかやってますと、交通系に乗れない人と、ものすごい不平等が生じると思いますよ。苦しみながら考えています。不平等だとは思っています。

140 億円の上限撤廃での制度改革が必要

【くれまつ議員】敬老パスの利用拡大を実現していくために、事業費をどう考えるのか、事業費の上限設定について、伺います。敬老パスについては「事業費が142億円を超えると見込まれる場合には、新たな見直しを行う」という考え方のもと、現在、「新たな敬老パス制度のあり方」について検討を進めています。先の6月議会では、私の質問に対して、市長は、「私鉄への利用拡大を検討する」というマニフェストを守ること、「値上げはしない」との答弁でありました。健康福祉局長は、「実態把握調査の結果やICカードの年間を通じた乗車実績の分析をもとに、JRや私鉄などへの対象交通の拡大をはじめ、議会からのご要望を踏まえ、限られた財源の中で、より使い勝手がよく、かつ持続可能な敬老パス制度を検討する」「今年度方向性を整理する」との答弁でした。高齢者数の伸びにより、敬老パスの事業費が増えていくことは予想されています。今年度敬老パスの予算は140億円となり、来年度には142億円をこえるかという状況で、上限枠の範囲で制度設計すれば、利用者の負担をお願いするか、利用の制限か、そのような

ことを考えなくてはなりません。しかし、市長は、値上げはしないという考えを示されています。利用制限をしたら、敬老パスによる効果が小さくなってしまいます。市長、ここは上限を取り払って制度設計をすべきです。

ここで敬老パスの事業は、4つのすぐれた効果、社会参加効果、健康効果、経済効果、環境効果があるという市の調査報告があります。市民アンケートでも「外に出かけることが容易だと病気になりにくい」「医療費削減につながる」「健康のため出かけることが多くなる」と健康効果についてのご意見がありました。外出して買い物や食事をし、消費支出は1回あたり4200円という試算で、敬老パスの事業費131億円に対して経済効果は316億円という本市の調査です。市民アンケートでは、「マイカー利用をやめ、敬老パスをもらって名鉄・JRを利用したい」とのご意見もありました。高齢者のマイカー事故も多発しております。マイカー使用を控え公共交通への乗り換えにより、温室効果ガスCO₂排出抑制に貢献します。

敬老パス事業によって市民にとって有益な効果をもたらしているにも関わらず、142億円という事業費の上限の範囲で制度設計をすることは、敬老パス事業による健康効果や社会参加効果、経済効果、環境効果も抑制していくことになるのではないのでしょうか。

敬老パスは高齢者福祉の増進をはかる名古屋市の福祉の象徴というべき施策です。

事業費について、上限枠にとらわれず、高齢者の方の交付率を高めることをめざし、JR・私鉄への利用拡大を行うべきと考えますが、市長の見解を求めます。

上げずに堅持する（市長）

【市長】上げずに堅持するという、そういう気持ちで頑張っていけないかと思えます。

上限枠にとらわれないで行くのか（再質問）

【くれまつ議員】上げずにということは、上限枠にとらわれないで、上げないで行くという理解でよろしいか。

142億円を維持する（市長）

【市長】142億を維持するということで、まあ、やっていくということ

上限枠を取り払って制度設計を（意見）

【くれまつ議員】142億円の範囲で新たな制度設計を行うことになれば値上げはしない、一方で利用者の利用が制限されることになる。敬老パスのいろいろな有効な効果が縮小されていくことになる。新たな制度設計に当たっては上限枠は取り払って敬老パスのいろいろな効果が広げられるよう制度をしていくよう求めます。

県営名古屋空港の航空機による騒音について

騒音監視での F35 への対応を

【くれまつ議員】 県営名古屋空港の航空機による騒音問題について質問します。

今年 7 月守山区の大森に住んでいる方が、「朝 9 時ごろ、下から天につきあげるようなこれまでに聞いたことがないような大音量の音で驚いた」と区役所と航空自衛隊小牧基地に問い合わせをされました。区役所からは「県営名古屋空港に隣接した三菱重工小牧南工場において F-35 ステルス戦闘機の試験飛行である」との返答があったそうです。F-35 は、敵のレーダーで探知されにくいステルス機能や核爆弾を投下できる機能までもつ最新鋭の戦闘機とのことです。防衛省が 42 機配備し、38 機の組み立てを三菱重工小牧南工場で行う計画です。現在まで F-35 は 6 月以降 1 号機が 6 回、2 号機は 9 月 10 月で 5 回、計 11 回の試験飛行が行われた、9 月にも F-35 の騒音の苦情を私は聞きました。F-35 はこれから県営名古屋空港を使い、名古屋上空にも轟音を響かせながら飛ぶことになります。



F-35A



C-130A (自衛隊ホームページより)

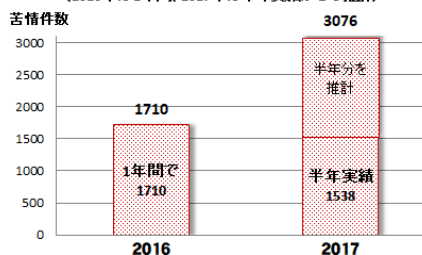
F-35 は米軍基地には、F-15 戦闘機の次の戦闘機として、今年 1 月から岩国基地に配備されて、航空機騒音の苦情件数が格段に増えているとのことです。岩国市の航空機騒音の苦情の件数は昨年 1 年間で 1710 件から今年度 4 月からの半年間で 1538 件、年間にすれば 3076 件と 1.8 倍に増加しております。岩国基地周辺での騒音測定値は最高で 106 デシベルという大騒音が記録されています。

100 デシベルは、電車が通るときのガードの下の音、110 デシベルは自動車の 2m 前の警笛の音に相当するとのことです。耐えられません。

F-35 はこれまで聞いたことがないような爆音で、名古屋市上空を飛ぶのです。本市は飛行計画に基づく騒音測定を行い、市民の快適な生活を守る責任があるのではないのでしょうか。そこで、環境局長に伺います。県営名古屋空港を利用して名古屋市上空を飛

F-35 配備(2017年1月)の前後の
苦情件数(米軍岩国基地)

(2016年は1年間、2017年は半年実績からの推計)



行する F-35 について、航空機騒音測定・評価マニュアルに基づき、F-35 の飛行計画・飛行空域などの情報を把握して、騒音測定を行うべきと考えますが、見解を伺います。



航空機騒音の調査結果（Lden）（単位：dB）

	①北区 六が池町	②守山区 守山二丁目
2014 年度	61	57
2015 年度	60	55
2016 年度	60	57
環境基準 (用途区域)	57 (第 1 種住居地域)	57 (第 1 種住居地)

F-35 は監視対象の主要な航空機には該当しない（局長）

【環境局長】 県営名古屋空港を離着陸する航空機の騒音は、「市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例」に基づき、空港周辺で毎年定期的に騒音測定を行っています。測定は、国が定める「航空機騒音測定・評価マニュアル」に基づき、飛行場の運用状況や主要な航空機による飛行経路、風向等の気象条件から測定地点や測定時期を定めることとなっており、名古屋市は北区と守山区内の 2 地点で、冬季に 2 週間、定期監視を実施し、測定結果を公表しています。

F-35 について、名古屋空港では機体の組立後の試験飛行であり、運航も不定期であることから主要な航空機には該当しないと考えており、定期監視における測定地点等を選定する際の対象としていない。今後も引き続き、「航空機騒音測定・評価マニュアル」に基づき、F-35 も含めた県営名古屋空港の運用状況等をふまえて航空機騒音の監視を行っていきたい。

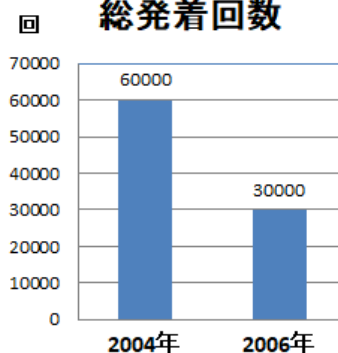
自衛隊機の低空飛行訓練の情報を得て測定を。年に 1 回、2 か所では少ない

【くれまつ議員】 F-35 のこれまでにない爆音とは異なり、自衛隊機の飛行訓練などに伴う騒音も市内で発生しております。自衛隊の輸送機 C-130H が 2 機並んで低空で旋回飛行をしています。ゴーという低い轟音で、会話ができないくらい、とてもうるさいのです。航空自衛隊小牧基地が県営名古屋空港に隣接しているわけですが、名古屋空港全体の総発着回数は、国際線が中部国際空港に移る前の年の 2004 年 6 万回であったのが、中部国際空港が開港し県営名古屋空港になった翌年 2006 年には 3 万回に減少。しかし、

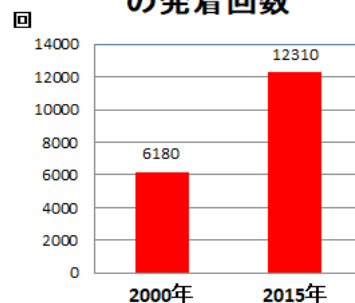
自衛隊機の発着回数は、中部空港の開港前、2000年 6180 回が 2015 年に 12310 回に 2 倍以上に増えました。県営名古屋空港における航空機の騒音測定は、小牧市 8 か所、豊山町 2 か所、春日井市 4 か所、名古屋市は 2 か所で実施されております。名古屋市の航空機騒音の測定は年に 1 回、北区と守山区の 2 か所で行われています。今年 1、2 月の測定結果は、北区は 60 デシベルで環境基準の 57 デシベルを超過し、守山区は 57 デシベルで基準値ぎり

ぎりでした。低空飛行訓練をしている C-130 の騒音の苦情は空港からはなれた緑区でも発生しており、騒音測定の場所や回数を見直しが必要ではないでしょうか。自衛隊機の飛行訓練による騒音を抑制していくために、市が、自衛隊から低空飛行訓練の空域や計画の情報を求めて、騒音を測定すべきと考えますが、環境局長の見解を伺います。

名古屋空港の
総発着回数



名古屋空港の自衛隊機
の発着回数



低空飛行訓練は防衛上の機密事項なので把握できない（局長）

【環境局長】航空機騒音の測定は飛行経路を把握し、測定場所の確保に関係者との調整や必要な機材の搬入等の事前準備が必要となります。しかし、自衛隊機の低空飛行訓練は、防衛上の機密事項であり、訓練内容を把握することができず、飛行経路が特定できない自衛隊機の騒音測定は困難です。

自衛隊機の低空飛行訓練を含む航空機騒音についての苦情・相談が寄せられた場合は、空港管理者である愛知県にその都度、苦情の内容を伝えるとともに、運航事業者に対し必要な対応を行うよう要請することを依頼しています。これまでに寄せられた C-130 などの自衛隊機への苦情についても同様の対応をしている。

航空機騒音に対する監視体制の強化を（再質問）

【くれまつ議員】環境局長の答弁は納得がいきません。

F-35 は「運行が不定期だから定期監視における測定地点を選定するための対象にならない」との答弁でしたが、今後は F-35 が本格配備されていくと空港の利用が増えていくと予想されます。防衛省は 2014 年 12 月に三菱重工南工場を機体の整備拠点にすることを明らかにし、アメリカ政府はアジア太平洋地域におけるリージョナルデポ、すなわち整備拠点にすることを決定しました。F-35 の本格配備される段階になると、部隊の運用や点検・整備のため、県営名古屋空港に飛来する機数が増加し、騒音被害が増え

ることが予想されます。そういった状況になっていっても、現状通りの監視測定体制でよいとお考えでしょうか。

今後F-35の離発着数の変化が見られれば、騒音監視体制の見直しを検討するとの答弁は前向きな大事な答弁でした。F-35の動きを積極的に情報収集していただくように要望しておきます。

試験飛行なので対象になっていないが必要に応じて見直す（局長）

【環境局長】F-35は機体組立後の試験飛行を不定期に行っているもので頻度が少ないことから、現時点では県営名古屋空港の騒音を測定するにあたり、F-35は主要な航空機とは位置付けていない。

しかし、県営名古屋空港の連用状況は今後、変化していくことがあり得ることから、F-35を含めた自衛隊機に限らず、航空機の離着陸回数が大きく増加するなど、定期監視の測定結果が現状よりも高くなっていくような場合は、「航空機騒音測定・評価マニュアル」に基づき、適切な測定地点、期間等となるよう本市の騒音監視体制の見直しについて検討したい。

低空飛行訓練による騒音問題を認識しているのか（再質問）

【くれまつ議員】自衛隊機の低空飛行訓練の騒音測定についても、納得がいかない点について、局長に再質問します。自衛隊機の低空飛行は、「防衛上の機密事項で飛行経路が特定できないから騒音測定ができない」との答弁ですが、それでいいのでしょうか。自衛隊機の空港使用が増えている。そして自衛隊機が市内上空を自由に低空飛行訓練が増えている。自衛隊機の騒音の苦情件数去年は4件、今年は9月末までで2件です。「今年の苦情はC-130が複数で飛んでいてうるさかった」というものです。C-130と分かって苦情の電話をかけられる方は、本当に騒音が耐えられないのではないのでしょうか。低空飛行訓練によって騒音が発生していることについて、どのような認識をお持ちでしょうか。

飛行経路や日時、機種等を聞き、空港管理者を通じて運行事業者に対応を要請（局長）

【環境局長】離着陸以外の飛行による騒音としては、C-130の低空飛行訓練やヘリコプターの緊急飛行等の騒音による苦情や相談が寄せられており、航空機による騒音が発生していることは認識しています。そのための対応としては、苦情等を寄せられた方から飛行経路や日時、機種の特徴等を聞き、空港管理者を通じて運行事業者の特定に努め、環境に配慮した運行などの対応を要請している。今後も引き続き、寄せられる苦情等には、その件数の推移なども考慮して、適切な対応を取っていきます。

騒音の苦情発生に対して環境を守るとりくみの強化を（意見）

【くれまつ議員】名古屋空港の離着陸以外の飛行による騒音の中で自衛隊機C-130の低空飛行訓練や緊急着陸等の騒音の苦情が本市に寄せられていること、航空機の騒音が発生していることを環境局として把握していると答弁いただきました。騒音の苦情の対応も航空機や飛行経路、日時、機種など詳細な聞き取りを行って航空機を特定し、環境に配慮した運行を求めると対応についてご説明いただきました。自衛隊機の低空飛行による騒音の測定は課題があることはわかりましたが、騒音の苦情発生に対して環境を守るとりくみを引き続き行っていただくよう、要望しておきます。

今回は、県営名古屋空港の航空機による騒音について質問しました。

県営名古屋空港で今までにない爆音を放つF-35が飛行し、今後F-35の利用が増えていくことになれば、騒音測定の見直しをおこなっていくことを表明していただきました。自衛隊機の空港利用が増えて、低空飛行訓練の騒音が発生していることについても、市民の生活を守る立場で騒音にどのように対応のとりくみも明らかにできました。F-35のかつてない爆音、C-130の低空飛行による爆音から市民生活を守るために、名古屋市が飛行計画や情報収集に努力して、低空飛行訓練の騒音測定方法の研究・見直しなどを行っていただくことを要望しまして、質問を終わります。